

高砂市歴史文化 基本構想(2)

「歴史文化資源群の保存と活用」

歴史文化資源群とは

前号にあげた4つのテーマに沿って市内を見渡すと、そこには多くの関連する歴史文化資源群が存在しています。

「竜山石の文化」は竜山石切場や「石の宝殿」に限らず、他にも、実に多種多様な資源が身の周りに存在します。古い集落や道筋をたどると、建物の基礎石や道の側溝、道標などを目にする事ができるのでしよう。私たちの身の周りの風景には竜山石の資源がまだたくさん発見されずに息づいているはずですよ。

「白砂青松」は渚を象徴するテーマで、資源は一見途絶えているようですが、各神社の霊社は、代を重ねて受け継がれています。海岸や松を描いた多くの絵図・古写真や、市民が近づける海岸部を再生する動きなど、次の世代の新た

な歴史文化資源になっていくものでしょう。

「塩づくり」も現在は衰退した産業ですが、今回の調査で製塩従事者のための集落も再発見され、その技法や技術は、高砂の環境がもたらした技として、受け継いでいくことができるでしょう。

文化財総合的把握モデル事業

ひと・まち・石

問合先 教育委員会
生涯学習課文化財係
☎448-8255

「みなとのまち」は、交易による発展を背景に多くの歴史文化資源が集約、存在している場所で、他の3テーマに関連する資源も多くあります。それぞれのまち固有の建物や町並み、祭りなどもあります。

歴史文化資源を見つけるなら、まず「みなとのまち」をきっかけにしてみると良いかもしれません。

資源の保存活用に向けて

これらの歴史文化資源のなかで、特に代表的で文化財的価値が高いものは、確実に後世に受け継いでいく必要があります。文化財制度のなかで指定、登録を図ります。

特に関連し合う資源同士については、それらを結びつける工夫をして、高砂の魅力ある歴史に触れ、理解を深める機会を増やす必要があります。

歴史文化資源は、高砂市の歩みを知る重要な手掛かりになり、まちづくりを進めていくにあたって、活用できるのでしよう。



竜山石切場見学風景